

きのこ展会場MAP

園内の「きのこ出現ポイント」を
回ってみよう!

マップ内の丸数字は、昨年、裏面写真
のキノコが生えていた場所です。
中央広場の掲示板「ただいま生えて
いるきのこ」と併せてご覧ください。
※マップ内のきのこは、常に生えている
わけではありません。

研修展示館

- 1F 絶滅危惧の菌類たち
- 2F きのことアートの世界
- 3F きのこと画コンテスト
「きのこコン」応募作品展示

多目的温室

野生きのこ・栽培きのこの展示
きのこ研究展示



常設展示 「植物園のきのこの仲間」

2016年にオープン!四季を通して
いろいろな「きのこの仲間」を
観察できるコーナーです。

中央広場周辺

休憩スペース・飲食店
マッシュルームの販売
[有料・日曜日のみ]

教育棟

きのこグッズ販売

植物園からのお願い



とらない!



植栽区への
立入禁止



ハチに注意



1 エリマキツチグリ

2 サンコタケ

3 シラタマタケ

4 ベニヒダタケ

5 タマゴタケ

きのこQ&A

今年は菌類(きのこ・カビ・地衣類)における絶滅種・絶滅危惧種を特集！きのこやその他の菌類についてよく挙げられる質問をまとめました。

Q1

展示されているきのこはどこから採ってきたの？

ほとんどが身近な場所からです。大半は植物園から半径10キロ圏内。植物園を舞台にした大規模なきのこ調査も進行中です。その他にも日本全国の協力者から、たくさんのきのこを送っていただきました。
⇒詳しくは「多目的温室」で！

Q2

毒きのこはさわっても大丈夫？

大丈夫です。世界で唯一「カエントケ」というきのこだけは、さわるだけで皮膚がかぶれることが知られていますが、その他のきのこは猛毒菌を含め、さわるだけでは全く問題ありません。ただし、いつもはどんどんさわってもらう展示コーナーとなっていますが、**今年も新型コロナ拡大防止のために、展示場のきのこにさわることはご遠慮ください。** ⇒詳しくは「多目的温室」で！

Q3

実際に生えている状態のきのこは見れないの？

筑波実験植物園には年間を通して多様なきのこが発生します。どんな時期でも植物園を一周すれば、軽く30種を超えるきのこを見ることができるといっても過言ではありません。園内全体がみどころですが、特におススメなのは「冷温帯落葉広葉樹林帯(ブナ林)」です。タイミングが良ければ大量のタマゴタケを見ることができます。中央広場掲示板の「きのこマップ」に書かれた情報も見逃さないで！
⇒詳しくは植物園内で！

Q4

きのこのアート展示もあるって本当？

はい。「きのこコン(きのこ画コンテスト)」応募作品展では、入選作品だけでなく、多数の力作が展示されています。この中から来年のきのこ展のポスターデザインが選ばれるかも！また、きのこを生き生きと表現した木版画、繊細な水彩画、オリジナルのガラスのマグカップなど多彩な「きのこアート」作品がみなさんを待っています！
⇒詳しくは「研修展示館2Fおよび3F」で！

Q5

えっ？きのこも絶滅するの!?

もちろんきのこも絶滅します。また、現在絶滅の危機に瀕しているきのこもたくさん存在します。でも彼らが本当に絶滅したのか、絶滅の危機に瀕しているのか、を証明することは簡単ではありません。最新の『環境省版レッドリスト(絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト)』には軽く100種を超えるきのこや地衣類が掲載されています。
⇒詳しくは「研修展示館1F」で！

Q6

マツタケも絶滅危惧種と聞いたけど？

その通り。2020年に国際自然保護連合(IUCN)により絶滅危惧種に指定された際は、日本国内でもセンセーショナルに報じられました。ただし、マツタケが日本人の食卓からすぐに消えることはないでしょうし、本当にマツタケが減っているのかも、実ははっきりとはわかっていないのです。絶滅種の再発見、調べてみたら普通種だった、などの研究例も多数紹介します。
⇒詳しくは「研修展示館1F」で！

6 スポンタケ

7 チチタケ

8 フクロツルタケ

9 ノボリリュウタケ

10 コフキサルノコシカケ

